

「鉄道に乗って/ローカルな台湾に出会う旅」 PART 3

花東線、高雄編

3号にわたって掲載してきた鉄道×現地での触れ合いを楽しむ「ローカルな台湾」特集。台北から東北角、宜蘭線と下り、今回は花東線から南の都市・高雄へ。名残惜しい台湾の旅も、いよいよラストです！

2月6日深夜台湾東部の花蓮で発生した地震に際し、日本政府はいち早く2月8日に専門家チームを現地に派遣され、救助活動にご協力いただきました。日本各界の皆様からの心温まるお見舞い・激励の言葉をしっかりと心に刻みます。なお、現在、被害のあった花蓮市内以外は、台湾全土の交通機関・観光地・生活など影響なく、平常通りです。どうぞご安心ください。

2018年2月9日 台湾観光局 局長 周永峰

「Hualien / 花蓮」

宜蘭線をさらに南へ。絶景・太魯閣峡谷への玄関口として知られる花蓮は、美しい自然に出会えるのももちろん、近年リノベーションスポットも増えてきた話題の街。日本時代の貴重な建築にも注目。



園内のカフェ。週末は音楽ライブが開催されることも。

ソウエンピエファン 松園別館

1942年に日本軍により建設された元・花蓮港兵事部。門から一歩足を踏み入れれば樹齢100年を超える松の木たちが迎えてくれる。かつての貴重な建物を残し伝えつつ、芸術文化に親しむ場として、現在は、作家を招いたサロンやワークショップなどが開かれている。カフェやショップも併設。松園カフェで提供されている「松葉ドリンク」はぜひ一度試したい。

花蓮市松園街65號
03-835-6510
入場券 / 50元
9:00~18:00
毎月第2火曜日
「花蓮駅」よりタクシーで約10分



提供：台湾観光局

リーユイタン

鯉魚潭自転車道

鯉魚潭は東台湾最大の内陸湖。春から夏にかけてはホタルも見られる美しい湖で、周囲をぐるっと一周する全長約5kmのサイクリングロードが設けられている。約30分程度で周れるコースだから、大自然の中のサイクリング体験が気軽にできるのがうれしい。バスで鯉魚潭ビジターセンターに行き、自転車を借りて出発しよう。日常を忘れておきのひとときを。



花蓮縣壽豊郷池南村環潭北路100號
03-864-1691
(鯉魚潭ビジターセンター)
8:30~17:30
「花蓮駅」よりバスで約50分
「鯉魚潭」下車



コスモスのブックマーク180元



原住民コースター190元

ソウエンピエファン 松園別館

約100年前の酒造工場をリノベーションした、イベントスペースやショップ、レストランなどからなる複合施設。2015年頃から園区内がどんどん充実し始め、文化と現在のライフスタイルが融合する場として花蓮の新たな観光名所になっている。ショップには特産品や、この地方に暮らす原住民のグッズ、流行感度の高いアイテムなどが揃う他、水曜から日曜は花蓮最大の手作り市も開かれており、見応えたっぷり。

花蓮市中華路144號
03-831-3777
11:00~21:00(土日は10:00~)
年中無休
「花蓮駅」よりバスで約13分
「創意文化園區」下車



ファミリーエンピハイ

花蓮濱海自転車道

海を見ながら解放感にあふれたサイクリングができるのがこの自転車道。大きく弧を描く湾と、透き通ったコバルトブルーの海は一見の価値あり。自転車道は花蓮市内から続いており、50分ほどで七星潭まで到達できる。ビーチにもレンタサイクル店があるため、こちらを利用して軽いサイクリングとビーチの散歩を楽しんでも。



花蓮市大漢村七星街32號
03-824-6946
(七星潭ビジターセンター)
「花蓮駅」よりバスで約15分
「七星潭」下車



提供：台湾観光局

コバルトブルーの海は必見!

少し足を伸ばして

タイトルゴージャスな太魯閣国家公園



太魯閣国家公園内に位置する太魯閣峡谷は、言わずと知れた台湾随一の絶景スポット。大自然の壮大さと厳しさを目の当たりにするかのような切り立った断崖絶壁に囲まれば、その空気感も相まって別世界に迷い込んだかのよう。一部には遊歩道やハイキングコースも設けられており、峡谷美を全身で体感できる。



入口から一番近く、始めに目にする景勝地・長春祠。東西横貫公路建設の際に殉職した人々の霊を弔うために建てられた。

取材班の旅メモ①

バスをうまく使おう



太魯閣峡谷をハイキングしようとすると、往復で4~5時間はかかる道程。バスやタクシーを織り交ぜて、いいとこどりの観光を。バスなら峡谷の必見スポットを巡る台湾好行の太魯閣線がおすすめ。1日乗車券(250元)を忘れずに。



同時に8人までしか渡れないという吊り橋。橋の上から眺める峡谷にはまた違う趣が。



太魯閣峡谷の終点・天祥にある石碑。周囲にはお土産屋や食事処があり、一息入れて折り返す人が多い。

花蓮縣秀林鄉富世村富世291號
03-862-1100(太魯閣国立公園管理処)
8:00~17:00
第2月曜休
「花蓮駅」より台湾好行バスで「太魯閣」まで約40分
その後各景勝ポイントに停車しつつ「天祥」まで約1時間20分





Hua-Tung Line 花東線

+ちょっぴり南迴線

花蓮駅から台東駅までの花東線。車窓からは田園風景が一面に広がり、南に向かうにつれて釈迦頭やパイナップル、ドラゴンフルーツなどの南国ムード抜群の果物畑も姿を現してくる。南迴線の康楽駅や、かつての多良駅にも立ち寄って、台湾東部の自然美を満喫!

チーシャン池上



伯朗大道

数々のCMの撮影場所にもなった、ロケーション抜群の田園地帯。池上駅付近で自転車をレンタルし、サイクリングをしながら景色を楽しもう。俳優・金城武さん出演のCMを真似て、木の下で一服する姿も。どこまでも広がる空と揺れる稲穂の中を駆け抜ける心地よさは格別。レンタサイクルは100円〜。電動(300円〜)、屋根付きの2人乗り、4人乗りなど、数種から選べるところが多い。

台東縣池上鄉伯朗大道
08-986-2041
「池上駅」南 自転車約20分



台東縣池上鄉中正路1號
08-986-2270
6:30~20:30
無休
「池上駅」南 徒歩約1分

全美行池上便當

台湾屈指の米どころ、池上ではご飯をしっかりと味わって。かつて駅弁として有名だった池上便當は、今は駅前のお店で購入できる。お店で食べてもいいが、ぜひこれを持って伯朗大道へサイクリングに出かけたい。看板メニューは招牌便當(月台)80元。月台は電車のホームのこと。レトロな包み紙が評判で、箱も小さくためるエコ仕様。

お弁当を
ゲット!



ルーイェー鹿野



提供:台湾観光局

形はさまざまで、中にはかなりユニークな熱気球も。今年の開催は6月30日(土)~8月6日(月)。

鹿野高台

台湾の見どころとして近年盛り上がりつつあるのが熱気球。中でも鹿野高台で夏に開催される熱気球フェスティバルはこの地域で必見のイベント。期間中の早朝と夕方には色とりどりのバルーンが次々と上がり、予約をすればフライト体験もできる。早朝パートは5:30~7:30とかなり早い。その光景は早起きの価値あり!

台東縣鹿野鄉高台路46號
08-955-1637 (鹿野ビジターセンター)
「鹿野駅」よりバスで約15分
「鹿野高台」下車



タイドン台東



鐵花村

旧台東駅一帯に芸術・音楽ゾーンとして作られた鐵花村。夜になると熱気球型のランタンに明かりが灯り、ライブハウスから原住民音楽を中心に様々なアーティストの演奏が流れ響く。常設の3つのショップでは地元の食材を使ったオリジナルドリンクや台東の芸術家のグッズなどが販売され、新たなナイトスポットとして注目度上昇中。

台東縣台東市新生路135巷26號
08-934-3393
音楽集落(ライブハウス)20:00~22:00
(日曜は19:30~21:00)
鉄火小店(ショップ)15:00~22:00
月、火曜定休
「台東駅」よりバスで約20分「台東轉運站」下車



ランタンが幻想的。



週末には農家や職人が出品するブースもあり、写真はそこで目にした台東を代表する果実・釈迦頭。



カンラー康楽



國立台湾史前文化博物館本館

グネローライワンシーチエンウエンファボウグアン
卑南駅(現在の台東駅)建設の際、遺跡が発見されたのがきっかけで作られた博物館。その発掘物を中心に、台湾の先史と現在の原住民文化について詳しく紹介されている。2017年に導入された台湾の生態系を再現するインタラクティブなデジタルパネルなど、最新のテクノロジーにも注目。



台東縣台東市豊田里博物館路1號
08-938-1166
入館料/80元
9:00~17:00
月曜定休(祝日の場合は開館)、旧正月休
「康楽駅」南 徒歩約7分

ミュージアムショップでは実際に原住民の方が制作したグッズも販売。この時案内してくれた店員さんもベトナム族出身だとか。



Kaohsiung 高雄

北の大都市が台北なら、高雄は南の大都市。花東線から南迴線に乗り継ぐルート他、台湾新幹線(高鐵)を利用すれば台北から約1時間半で来られる。観光はもちろん、フレンドリーな高雄の人々の虜になること請け合い。



高雄愛河乘船体験

街に沿って流れる愛河を遊覧船で巡る高雄の名物。上流に向かってゆっくりと進む船に揺られながら、高雄のランドマークや、夜にはライトアップされた景色が眺められる。乗船時間20分程度で、一人150元というリーズナブルさも魅力。高雄に来たらまず乗ってみて。

高雄市鹽埕區中正四路
二二八和平公園(乗船場所)
07-746-1888
乗船料/150元
平日 15:00~22:00 (金曜は~22:30)
休日 9:00~22:00 ※随時出航
無休
高雄MRT「鹽埕埔駅」北東 徒歩約10分

提供:台湾観光局



日本語対応
スタッフも在中

取材班の旅メモ②

「高雄LRT」開業!



環状線「高雄LRT(ライトレール)」の第一期区間が2017年に運行を開始し、観光アクセスがより便利に。人と環境に優しい次世代の交通システムといわれ、流線形の車体や白を基調とした車内もなんだか近未来的。運賃は一律30元で、ホームの券売機で切符を購入できる。



美麗島車站

アメリカの旅行サイトで「世界で最も美しい地下鉄の駅」第2位に選ばれた美麗島駅。イタリアのアーティストが制作した「光の穹頂(光のドーム)」という巨大なステンドグラスアートが見どころで、1日3回光のショーも行われる。高雄の主な交通手段の一つである高雄MRTの主要駅だから、移動途中に立ち寄っても、一度改札から出るのを忘れずに。

蟹之屋

おじいさんが台湾の離島・澎湖島出身というオーナーの蟹さん。現地から仕入れる魚介を使った料理は鮮度、味ともに絶品。写真は鱈米糰(蟹おこわ)、花枝丸(イカ団子揚げ)、三杯小卷(ヤリイカの土鍋煮込み)、炒絲瓜(澎湖島ヘチマの炒め物)。蟹おこわは絶対に頼んでほしい一品。また、オーナーが台湾一と胸を張るイカ団子のふわふわ食感も衝撃。値段は時価だが、予算と好みに合わせて親身にメニューを見繕ってもらえる。

高雄市新興區民生一路93號
07-226-6127
予算/1000元程度~
11:30~14:00
17:30~21:00
旧正月休
高雄MRT「信義國小」南 徒歩約7分

